

Native Place of Streetcar

市電のふるさと

NO.15

2005



北海道遺産
Hokkaido Heritage



〈市電の会賛助会員 野村耕一氏撮影〉

Head Line

もくじ

- 1 ● 札幌市 路面電車の存続を決定
- 2~3 ● 市電フォーラム
- 4~5 ● トピックス
- 6 ● ニュース
- 7 ● お知らせ

札幌市 路面電車の存続を決定

存廃が検討されてきた市電について、平成十七年二月一日(火)、上田文雄市長は存続させるとの方針を発表しました。十五年度末に、路面電車を存続させるために、経営の効率化や車両更新等の設備投資の内容、料金改定などの課題の整理を引続き行うとともに、議会や市民との幅広い議論を行う」として引続き一年間検討、議論されてきたものです。

これまで、平成十五年一月の一万八千人市民アンケートの実施、広報さっぽろ十六年七月号での問題提起、九月号での市民の意見紹介、昨年度三回の市電フォーラムの開催、市職員による出前講座の実施などを通じて、市民との幅広い議論が行われてきました。一方で、検討課題については、以下の整理が行われました。

1 経営形態の見直しによる効率化について

民間活力の導入により、経営効率の向上や収支改善の可能性が見込まれるものの、事業者に対しては、一定の税投入が必要である。

将来的・具体的な経営形態のあり方については、路面電車の活用方策とも密接に関連することから、引続き検討を進める。なお、その間、安定した運行の確保を図るため、出来る限りの経費削減や増収に努め、税投入の軽減を図る。

2 車両更新等の設備投資について

設備投資については、路面電車の活用方策の検討を進める中で、具体的な整理を行う。その間、現行路線の機能維持に努め、車両更新や施設の更新などは安全運行を主眼に置いたものとし、必要最小限に留める。

車両の更新には、低床車両の導入とともに、新たな車両システムの導入可能性についても、幅広く検討を行う。

3 料金のあり方について

乗車人員の動向や税投入のあり方、料金水準面での他の交通機関とのバランスなども考慮し、適正な利用者負担について検討を行うとともに、市民議論を行っていく。

4 財政支援の可能性について

今後の活用方策を検討する中で、経営形態のあり方、料金のあり方、需要喚起や増収対策など、総合的な収支動向などを勘案し、財政状況を見極めながら、支援の方策について検討を行う。

5 需要確保策について

十六年度、貸切電車のPRや公共交通利用促進キャンペーンにあわせて、一日乗車券やスタンディングの実験を実施した。交通事業経営の安定性からは、これまでの需要喚起策に加えて、沿線利用者とのイベント実施など、さらなる利用者の掘り起こしを積極的に展開する。

今後は、二年を用途に、路面電車の将来的な活用方針を定めるために、路面電車のループ化や延伸した場合の効果や影響について検討、調査を進める。路面電車の活用方針の策定にあたっては、「路面電車のあり方検討委員会」あるいは「総合交通対策調査審議会」などにおいて議論を行うとしています。



上田文雄市長

市電フォーラム 「みんなで考えよう路面電車のこれから」

市電の存廃について、ひろく市民と議論する場として、札幌市が主催する市電フォーラムが三回にわたり開催されました。

第一回 市電の現状と路面電車の将来

平成十六年八月三十一日(火)

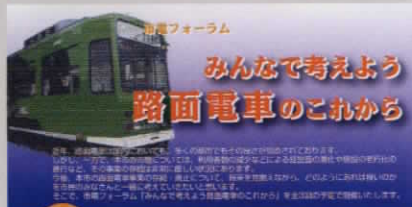
札幌すみれホテル

二一八人参加

市電が札幌のまちづくりを果たしてきた役割を市電の会賛助会員の山本晃靖氏が振り返るとともに、札幌市から市電の抱える厳しい現状と存廃の課題について説明されました。基調講演では、広島電鉄株式会社取締役(広島電鉄電車カンパニープレジデント)の中尾正俊氏から、路面電車の再生に取り組んできた広島電鉄の事例が紹介されました。



山本晃靖さんの発表



第一回 「市電の現状と路面電車の将来」

第1回は、市電が札幌のまちづくりを果たしてきた役割を市電の会賛助会員の山本晃靖氏が振り返るとともに、札幌市から市電の抱える厳しい現状と存廃の課題について説明されました。基調講演では、広島電鉄株式会社取締役(広島電鉄電車カンパニープレジデント)の中尾正俊氏から、路面電車の再生に取り組んできた広島電鉄の事例が紹介されました。

1 市電の現状と課題
 司会: 市電の会 藤田 隆
 基調: 市電の会 山本晃靖氏
 基調: 市電の存廃の課題 経済立地推進課 市電推進課

2 路面電車の再生課題: 広電の取り組み
 【基調講演】
 広島電鉄株式会社 取締役(広島電鉄電車カンパニープレジデント) 中尾 正俊 氏
 広島電鉄株式会社 専務理事 中野 正樹 氏

3 存廃問題の克服に向けて
 市電の会 藤田 隆
 市電の会 山本晃靖氏
 市電の会 山本晃靖氏
 市電の会 山本晃靖氏

札幌すみれホテル (中央区1番21番地)

開催日時: 平成16年8月31日(火) 午後1時30分～1時

参加費: 無料

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402

第二回 市電の存廃問題を考える

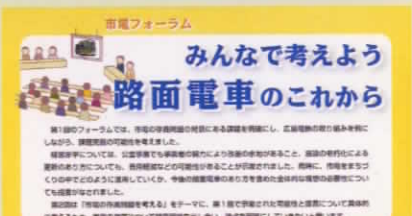
平成十六年十二月四日(土)

札幌すみれホテル

一九一人参加

市電の存続か廃止について、市電の会賛助会員の平野琢朗氏をはじめ、公募の市民四名が十分間市民意見発表「私は市電の存廃をこう考える」として、それぞれの立場から意見を述べるとともに、地元事業者、有識者を交えたパネルディスカッションが行われ、市電が都心の中で果たすべき役割などについて議論が交わされました。

市電の会では、第一回に引き続き、会場で市電の歴史パネル展を実施しました。



第二回 「市電の存廃問題を考える」

第2回フォーラムでは、市電の存続か廃止について、市電の会賛助会員の平野琢朗氏をはじめ、公募の市民四名が十分間市民意見発表「私は市電の存廃をこう考える」として、それぞれの立場から意見を述べるとともに、地元事業者、有識者を交えたパネルディスカッションが行われ、市電が都心の中で果たすべき役割などについて議論が交わされました。

第1回は、市電が札幌のまちづくりを果たしてきた役割を市電の会賛助会員の山本晃靖氏が振り返るとともに、札幌市から市電の抱える厳しい現状と存廃の課題について説明されました。基調講演では、広島電鉄株式会社取締役(広島電鉄電車カンパニープレジデント)の中尾正俊氏から、路面電車の再生に取り組んできた広島電鉄の事例が紹介されました。

1 市電の現状と課題
 司会: 市電の会 藤田 隆
 基調: 市電の会 山本晃靖氏
 基調: 市電の存廃の課題 経済立地推進課 市電推進課

2 路面電車の再生課題: 広電の取り組み
 【基調講演】
 広島電鉄株式会社 取締役(広島電鉄電車カンパニープレジデント) 中尾 正俊 氏
 広島電鉄株式会社 専務理事 中野 正樹 氏

3 存廃問題の克服に向けて
 市電の会 藤田 隆
 市電の会 山本晃靖氏
 市電の会 山本晃靖氏
 市電の会 山本晃靖氏

札幌すみれホテル (中央区1番21番地)

開催日時: 平成16年12月4日(土) 午後1時30分～1時

参加費: 無料

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402

申し込み先: 市電の会 事務局 札幌市中央区南一条西5丁目1番地 電話: 211-2402



市電の歴史パネル展

Forum

Forum 3

第三回 市電の存続の方向性について

平成十七年三月二十九日(火)
札幌すみれホテル
一八二人参加

市電を存続させるとの方針を固めた札幌市から、これまでの検討の経過や存続に向けた基本的な考え方などの説明が行われたほか、路面電車を中心としたまちづくりに取り組んでいる岡山市のRACDA（路面電車と都市の未来を考える会）の齋藤桂副会長から活動が紹介されました。後半は、上田市長をはじめ、地元商業者、有識者を交え、これからの路面電車のあり方、路面電車を活用したまちづくりについて議論されました。

市電フォーラム
みんなで考えよう
路面電車のこれから

第3回 「市電の存続の方向性について」

- 1 開会挨拶
- 2 これまでのまとめと本日のフォーラムの目的と進め方
- 3 「路面電車存続の検討経緯について」
- 4 「TRACDA（路面電車と都市の未来を考える会）の取り組みについて」
- 5 「パネルディスカッション「路面電車とまちづくり」

日時：平成十七年三月二十九日（火）
午後5時30分～8時30分

会場：札幌すみれホテル（中央区）



市電フォーラムの詳細な記録は札幌市のホームページに掲載されています。
http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/romen/forum/session/session1_01.html

提言書 「LRTで札幌がかわる。」

—— 10km LRT10km構想」

（LRTやっぽろ発行）

まちづくりと交通に関する政策提言を目的とした市民政策研究グループ「LRTやっぽろ」が発表した三冊目の提言書を紹介します。代表の吉岡宏高氏は、第二回市電フォーラムで公募市民の一人として、この提言内容もとに市電の存続について意見を発表しています。

市電の存続については、現在の8.5kmだけで判断するのではなく、まちづくりの施策と連動した積極的な打開策が不可欠であり、第一段階として以下の内容が提案されています。

- 路線 すすきのから札幌駅前までの1.5kmを延長
全線を更新し、一挙にLRT化する
- 車両 全長30mの超低床車を17編成一括導入
- 運行 早朝5:30から深夜24:30まで拡大し、日中は8分間隔で運行
札幌駅～大通間は4分ごと
- 運賃 一回100円 一日券300円
- 事業の枠組み 設備は札幌市が保有し、施設や資金の調達、運行は、札幌市や民間、市民が出資する特定目的会社が行う
- 採算 札幌市は20年間合計で205億円（設備投資+設備維持費）を分割支払い
営業三年度目に単年度黒字、九年度目に累積損益が黒字転換
- 効果 便利になり、都心居住が増え、税収が増加する
一日四万人が利用し、都心が活性化
観光客にも利用しやすいなど

提言書は、一部300円（送料・税込み）で販売されています。詳しくは、「LRTやっぽろ」のホームページ <http://www.lrt-sapporo.gr.jp> をご覧ください。
問合せ info@lrt-sapporo.gr.jp

LRTで札幌がかわる。 10km構想

LRTやっぽろ

Topics 1 市電の通る街 西創成地区再発見事業

すすきのの西側から市電沿いに広がる西創成地区の町内会、社団法人西創成親和会（松野哲也理事長）は、平成16年10月25日（月）に貸切電車の中で「西創成まちづくり懇談会」を開催しました。地域のシンボリックな存在である市電を見つめ直し、併せてまちづくりについて考えようと、地区住民40人が、札幌市の出前講座「市電の現状と課題」と森啓北海学園大教授の講演「まちづくりと町内会」を聴き、話し合いが行われました。

また、西創成親和会では、浦田久氏が描いた「チンチン電車の通る街」カレンダーを作成し、地区住民に配布するとともに、浦田氏と市電の会賛助会員の水彩色鉛筆画家鈴木周作氏の市電の絵原画展を25日（月）から29日（金）まで、中央区役所1階の市民ロビーと中央区民センターロビーにおいて開催し、多くの来場者の目を楽しませました。



浦田久氏原画のカレンダー



まちづくり懇談会



市電の絵原画展



販売されている
鈴木周作氏のポストカード
<http://www.h2.dion.ne.jp/~syuchan/>

Topics 2 市電沿線で違反広告物除去活動



はり紙をはがす活動参加者

市電沿線の西連合町内会（山口富美会長）は、まちの美観を保とうと中央区道路アダプト制度に基づき、違反広告物を除去する環境美化活動を開始しました。最初の一斉活動となった平成16年7月28日（水）には、区役所職員を含む約100人が参加し、電柱などに張り出されたはり紙をはがし、落書きを消す活動を行いました。

市電沿線では、このほか曙地区連合町内会（逢坂登喜男会長）と山鼻地区にある精神障がい者の生活支援を行うNPO法人あずまし家の小規模作業所[㊟]なはは（まるしょう なはは）（越田伸哉所長）も違反広告物の除去に取り組んでいます。

中央区道路アダプト制度とは

アダプト Adopt とは、英語で養子縁組するという意味で、道路や公園などの公共空間を養子に見立て、町内会や商店街などの団体が里親となり、清掃や飾花活動を行う環境美化活動の仕組み。活動団体は、区役所と覚書を結んで活動を行い、区役所は清掃用具を提供し、ボランティアの傷害保険に加入するなどの支援を行います。

Topics 3 イ・ビョンホンは市電の運転手だった！

韓国ドラマ「美しき日々」などに主演している人気俳優イ・ビョンホンが、平成10年11月と12月に雪の札幌を舞台に撮影された「不滅の愛」という曲のプロモーションビデオ(14分)のなかで、市電の運転手役を演じています。

札幌市交通局では、雪まつり期間中である平成17年2月9日(水)、10日(木)、13日(日)の3日間、このビデオ上映会とロケ現場見学会を開催しました。中央図書館で開催された1日4回のビデオ上映会には、立見が出るほどの盛況ぶりで、延べ1,200名が鑑賞したほか、電車事業所でのロケ現場見学会にも400名が参加しました。

また、2月7日(月)から28日(月)までは、地下鉄大通駅の交通案内センターで札幌ロケ写真展が開催されました。



ロケ現場見学会

イ・ビョンホンが座ったシートで記念撮影

札幌市の「公共交通利用促進キャンペーン」の一環として、昨年以下のイベントが開催されました。



市電と綱引き

Topics 4 市電フェスティバル

平成16年9月26日(日)、電車事業所構内において「市電フェスティバル」(財団法人札幌市交通事業振興公社主催)が開催されました。家族連れを中心に約1,500人が訪れ、市電との綱引きやゴジラと一緒に撮影会、帽子をかぶった運転手なりきり撮影会、ササラ電車の作業実演、色砂で市電の絵を描く砂絵コーナーなどで秋の一日を楽しみました。

市電の会では、賛助会員8名がボランティアとして、「市電とゴジラの歴史展」の解説や会場整理、入会受付の活動を行いました。



ゴジラと記念撮影



ササラの取付け実演

Topics 5 市電スタンプターリング

平成16年9月25日(土)から10月31日(日)までの期間中、市電沿線のスタンプポイント17ヵ所を巡る「市電スタンプターリング」(財団法人札幌市交通事業振興公社主催)が行われました。参加者は、期間中実験的に発売された「市電専用1日乗車券」を購入し、協賛店や施設を利用してスタンプを集め、オリジナルの限定ピンバッジや協賛店の食事券などの賞品を獲得しました。



第7回全国路面電車サミット2004in高知 開催

平成16年10月22日(金)から24日(日)までの3日間、全国路面電車サミット2004in高知が開催されました。路面電車サミットは1年おきに開催されていますが、土佐電気鉄道の電車開通100周年を記念して1年繰上げて開催されたものです。

サミットでは、「これまでの100年・これからの100年」の趣旨のもと、「都市における路面電車の存在意義は?」「路面電車を安価につくるには?」をテーマにシンポジウムが行われ、以下の路面電車サミット宣言が採択されたほか、外国電車5台によるパレードがサミットに花を添えました。

路面電車サミット宣言

全国から路面電車に深い関わりを持つ諸団体、諸企業及び行政関係の方々が、路面電車が走り始めて100周年を迎える高知市に集い、3日間のサミットを開催しました。

路面電車を活かしたまちづくりについて熱心な討議を重ねる中で、次のとおり宣言します。

1 路面電車へのエール

日本全国で、現在19社779両の路面電車が活躍しております。これらの車両にご苦労さん頑張れとエールを贈ります。

2 愛好支援団体の仲間に

市民・住民の方々と共に路面電車に公共交通機関として不動の地位を保障するよう支援しましょう。

3 路面電車事業者への要望

各年齢層の地域住民や観光客の利用者にとって、利便性と快適性を供与できる路面電車を走行させるよう励んでいただくよう希望します。

4 車両メーカーへの提言

より一層バリアフリーとユニバーサルデザインの考えに立つ標準タイプの基本車両を設計され、個々の路面電車事業者が豊かな地域性を発揮できる車両の製作に取り組まれるよう希望します。

5 国・地方公共団体の行政関係者へ

路面電車事業者が、車両導入や軌道整備・延伸に要する経費に対する補助や、路面電車の優先運行が確保できる法的規制等の、ハード・ソフト面への支援に積極的に取り組んでいただくよう希望します。

人と環境にやさしい路面電車にいま一層の光を

2004(平成16)年10月24日



土佐電鉄の外国電車

第7回全国路面電車サミット2004in高知

News 2 書籍紹介



●「発掘カラー写真 昭和30年代鉄道原風景 路面電車編」(JTBパブリッシング発行)

駐留米軍将校として来日したJ. W. ヒギンズ氏が全国をくまなく回り、カラーフィルムで撮影した昭和30年代の鉄道写真集全3巻の1巻。札幌の市電では、豊平駅前付近に近づく110号や円山公園付近を走るディーゼルカーD1011号など6枚のカラー写真が掲載され、当時の街並みとともに色鮮やかによみがえっている。

(規格) A4判、160ページ、オールカラー (価格) 7,350円

(購入) 全国の書店

●季刊札幌人2004年秋号(通巻3号)「さっぽろの市電」(札幌グラフィックコミュニケーションズ発行)

札幌の魅力のひとつ、場所、もの、できごとを読者に届けようと2004年4月に創刊された都市文化探訪マガジン「季刊札幌人」の特集号。

市電の歴史や電車事業所が詳しく紹介され、市電に関する書籍やグッズも掲載されている。

(規格) A4判、82ページ (価格) 600円

(購入) 市内の書店

(問い合わせ) 同社 TEL・FAX(011)281-5225

E-mail: sapporojin@rose.plala.or.jp



さっぽろの市電



●DVDビデオ 街を走る路面電車3「札幌市電」(SATTOステーション販売)

鉄道ファンの広島市在住の白井龍彦さんが鉄道関連商品の製作販売会社を自ら設立して発売したビデオ。沿線を紹介しながら全路線を巡り、車両の全形式や車内点検の様子なども収録されている。

(規格) DVDビデオ、45分 (価格) 2,500円

(購入) 道内の一部書店

(問い合わせ) 南サットジョイ TEL(082)832-3101 URL <http://www.satto.jp/>

お知らせ

オリジナルぜんまい式模型 市電8500形ミニが発売されます

(財)札幌市交通事業振興公社では、市電車両のミニカー第3弾として、市電8500形ミニを6月中旬に発売する予定です。

8500形は、昭和60年5月に電気回路やブレーキなど当時の最新技術を導入した新型車両として登場しました。従来の丸みのある車体から直線を強調したシンプルなデザインとなっており、名称は製造された1985年の末尾2桁から8500形とされました。今年登場から20年を迎え、現在6両在籍しています。価格は1,000円を予定し、発売の詳細は広報さっぽろや市営交通車両内、地下鉄駅構内に掲示するポスター、(財)札幌市交通事業振興公社ホームページでお知らせします。どうぞご期待ください。



好評発売中のM101形ミニ



野村耕一氏撮影

【問合せ】

(財)札幌市交通事業振興公社総務課

TEL (011)513-5205

URL <http://www.stsp.or.jp/>

お知らせ

市電車でオリジナル 共通ウィズユーカードが発売

4月1日から市電車内と電停(西4丁目、すすきの)の自動販売機でオリジナルなデザインの共通ウィズユーカード(1,000円)が発売されています。図柄は、花火を背景に夜の街を走る市電で、6万枚作製され、売切れ次第、冬の図柄が発売される予定です。



お知らせ

3「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電の好きな方ならどなたでも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円。会員には会員バッジと特製ウィズユーカード「さっぽろ市電歴史シリーズ」(500円)を差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申してください。また、郵便局からの振込もご利用いただけます。(「払込取扱票」(赤色)に口座番号02740-6-94026と加入者名「市電の会」を記入のうえお振込ください。振込手数料はかかりません。)

さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

URL <http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

【申込・問合せ】

市電の会事務局

札幌市中央区南3条西11丁目

札幌市中央区役所地域振興課(まちづくり担当)

TEL(011)231-2400内線219 FAX(011)511-7234



入会特典の特製ウィズユーカード